



リース完了パソコンから情報流出の恐れも

リース完了パソコン

センチュリー・リーシングの購入などをユーザーに働きかけていく。

システム、三井リース事業、リース期間が満了したパソコンは廃棄処分されるものを除き、多くは中古品市場で取引される。

データ完全消去を

データを完全消去するようユーザー企業に要請し始めた。データを容易に復元できる技術が登場し、情報漏えいの恐れがあるためだ。三社は共同で完全消去に必要なソフトウェア

センチュリーなど3社 ユーザーに要請開始

今のところリースパソコンからのデータ流出は発覚していないが、三社は顧客企業とのトラブルを未然に防ぐため対策に乗り出した。リース終了をユーザーに伝える際に完全消去用ソフトの入手方法などを紹介する。

データ消去にはパソコン一台当たり二千円程度かかるが、顧客企業の負担となる。リース契約の期限を迎えるパソコンは三社合計で年間約十五万台。